

研究部の活動 2017年

2017年は、昨年から本格始動した、東京湾におけるミヤコドリの生態調査をメインとして活動し、また、TBGの第2弾を企画したいと思っています。さらに、NPO法人・バードリサーチが企画している「東京都繁殖状況調査・第3回」(仮称)に、積極的に協力していきたいと考えています。その他、従来からの活動も継続します。それらのことは、今後本誌や研究部HPでご確認ください。

1. 東京湾のミヤコドリの生態調査

ミヤコドリはかつて珍鳥でしたが、最近では東京湾に300羽以上、名古屋の伊勢湾に100羽程度、その他日本各地に数羽～十数羽がみられていて、「数少ない冬鳥」という状態です。しかし、「なぜ増えたのか・どこから来ているのか・何を食べているのか」など何もわかっていない状態です。研究部では専門のチーム「ミヤコドリ研究会」を立ち上げ活動を始めています。この調査に参加したい人は、研究部・ミヤコドリ係あてメールでご連絡ください。



ミヤコドリが何を食べているのか？
餌の種類を明らかにするのが、研究の第一歩となる。

撮影：田中富夫氏

2. 越冬期調査

(1) カモを中心とした個体数調査：1月7日(土)～1月15日(日)

[詳細は前号の研究部レポートをご覧ください。] ※鳥インフルエンザにご配慮ください。

(2) 東京23区のおオタカ・ノスリー斉調査・第3回

日時：1月8日(日)午前10時～12時〔荒天の場合は9日(月・祝)同時時間帯〕

場所：東京23区内(他地域も参考とします。同日・同時段でお願いします)

調査方法：事前に指定された場所を、全域踏査し、おオタカ・ノスリーの生息数を把握。また、同時に他のタカ・フクロウなどの猛禽類も記録してください。

結果報告：1月15日(日)までに、メール・ファクス・はがきなどで、研究部・タカ係あてご報告をお願いします。下記の場所でも、積極的に調査をお願いします。

【今まで調査されていない主な緑地】

赤羽自然観察園、浮間公園、大井ふ頭中央公園、木場公園、旧古河庭園、猿江恩賜公園、新江戸川公園、東京大学本郷構内、豊島岡墓地、等々力溪谷、平和の森など。

3. 東京都鳥類繁殖状況調査《2010年代の調査》(予定)

同名の調査は、1970年代・1990年代に、東京都によって実施され、2冊の報告書が出されています〔東京都鳥類繁殖調査報告書(昭和48年～昭和53年)、東京都鳥類繁殖状況調査報告書(平成5～9年度)〕。どちらも同じメッシュ地図で実施されていますので比較ができ、その変化を知ることができます。3回目(2010年代)にも実施されると思われていましたが、都で予算化されない状態が続いていました。

今回、NPO法人・バードリサーチが、民間からの資金で調査の実施を企画しています。今年の4月～7月ごろに、都内全域(今回は島しょ部も含めて)で実施することになっています。詳細はまだわかりませんが、環境を知るうえで重要な調査ですので、ぜひ協力・参加をお願いします。